

# 溪和会江別病院 令和3年度病院指標

## 7. その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固	同一	-	-
		異なる	10	0.39%
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	11	0.42%
180035	その他の真菌症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置の合併症	同一	-	-
		異なる	-	-

### <解説>

同一とは、入院のきっかけとなる疾患と入院後に主に治療を行った疾患が同一であるか否かということです。発生率は全退院患者に対する発生率となっています。

播種性血管内凝固(症候群)は、さまざまな重症の基礎疾患により、全身の細小血管内で血栓ができる病態です。感染症や悪性腫瘍などの疾患に合併症として発症することが多い疾患です。

敗血症とは、体内で感染症を起こしている場所から血液中に病原体が入り込み、重篤な全身症状を引き起こす疾患です。真菌症とは真菌類(カビ)によって引き起こされる疾患で、感染症によって体の免疫力が低下することによりかかりやすくなる疾患です。

手術・処置の合併症の内訳は、主に述語や処置後の出血、感染が占められており、体内に留置したカテーテルの機能不全や術後の出血、造影剤などによるショックの症例などが該当しますが、いずれも適切な治療を行っています。